

11/9
(月)

唐隈そてつ会が灯台美化で感謝状「きれい」が励みになる

11月9日、唐隈そてつ会が長年の長崎鼻灯台周辺美化活動と長島八景としてのPRに貢献したことなどの功績から、第十管区海上保安本部長表彰を受けました。

同会は地元のシンボルである灯台の美化活動をボランティアで始め、17年目を迎えます。高齢による会員の入れ替わりを行いながら、平均年齢70歳の会員11人で活動を存続し、灯台周辺の景観を維持してきました。

中屋修代表は「続けてこれたのは会員皆のおかげ

。訪れた人たちが『きれい』と言ってくれることが励み」と感謝を述べました。



感謝状を受けた唐隈そてつ会

11/9
(月)

B&G財団が7月豪雨見舞金寄贈 復興支援の一助に

11月9日、公益財団法人B&G財団が町に令和2年7月豪雨災害見舞金を寄贈しました。

これは同財団が全国の海洋センター所在地区で特に大きな被害を受けた自治体に行っているもので、全国の関係団体とともに取り組んでいる被災地復興支援の一環です。

寄贈式では、菅原悟志理事長が「被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。災害復興のためにご活用ください」と話し、川添町長に目録を手渡しました。

今回の式は災害直後に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による延期を受けて執り行われました。



川添町長に見舞金を手渡す菅原理事長

11/10
(火)

北薩法人会が手縫いぞうきん寄贈 学校掃除に役立てて

11月10日、川床小学校(松永貢校長・103人)は、北薩法人会女性部会から手縫いのぞうきん50枚が贈られました。

これは同会が県内の各学校に毎年寄贈する社会貢献活動の一環です。

贈呈式では、同会副部会長の松原美枝子さんが「大きさも厚さもそれぞれですが、思いを込めました。学校をきれいにしながら心も磨いてほしい」とあいさつし、ぞうきん50枚を手渡しました。

6年生の片下友満君は「掃除の時間に皆で使って、学校をきれいにしたい」と話しました。



代表してぞうきんを受け取った片下君